

平成 19 年 5 月 21 日

各 位

会 社 名 太洋物産株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 柏 原 弘
 (J A S D A Q ・ コード 9 9 4 1)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 執行役員 総務部長 宮内 敏雄
 電 話 (0 3) 5 4 0 2 - 8 1 8 1

平成 19 年 9 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年 9 月中間期(平成18年10月 1 日～平成19年 3 月31日)の業績予想について、平成18年11月14日付当社「平成18年 9 月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 19 年 9 月期 業績予想の修正等

(1) 中間期(平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	3 1, 0 0 0	1 5 0	8 0
今回修正 (B)	3 0, 3 5 9	1 9 9	7 6
増減額 (B－A)	△ 3 4 1	4 9	△ 4
増 減 率	△ 2. 1 %	3 2. 7 %	△ 5. 0 %

(2) 修正理由

売上高につきましては、菜種等の農産物において、円安基調の為替相場等の影響もあり、輸入価格が高い水準で推移したことから伸張したものの、当社の主力商品である牛肉におきまして暖冬の影響で消費が進まず、鶏肉におきましても国内で「鳥インフルエンザ」が発生し、消費が一時的に低迷したため、30,359 百万円(当初予想比 341 百万円の減少)となる見込みであります。

経常利益につきましては、商品市況の活発な動きの中での確かな商機を得ることができ、199 百万円(当初予想比 49 百万円の増加)となる見込みであります。当中間純利益につきましては、繰越欠損金を当中間期におきまして全額解消いたしました結果、76 百万円(当初予想比 4 百万円の減少)となる見込みであります。

なお、下期につきましても同様な商品市況の動きが続くと予想しておりますが、その消費の動向等を鑑み、業績予想の修正は行なわないものであります。

(3) ご参考：前期の実績(平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中間期 (17/10～18/ 3)	3 2, 0 5 8	1 2 6	5 4
通 期 (17/10～18/ 9)	6 6, 7 9 3	2 6 8	2 0 1

以 上